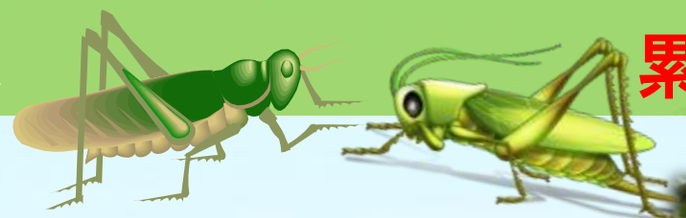
# バッタ・キリギリス調べ２０１２

里川小松川自然地協議会

**累積参加者:519人**



## 地域の皆様と一緒に行ったイベント

自治体広報などを活用し、区民を主対象としたプログラムを6月10日、8月19日、9月29日に実践し、109名の参加者を集めました。

## 企業のご家族の方と行ったイベント

食品製造業、生命保険業、証券業の3社において、社員の御家族の方を中心にプログラムを開催しました。
155名の参加者に御申し込みをいただきました。

## 小学校の総合学習の現場

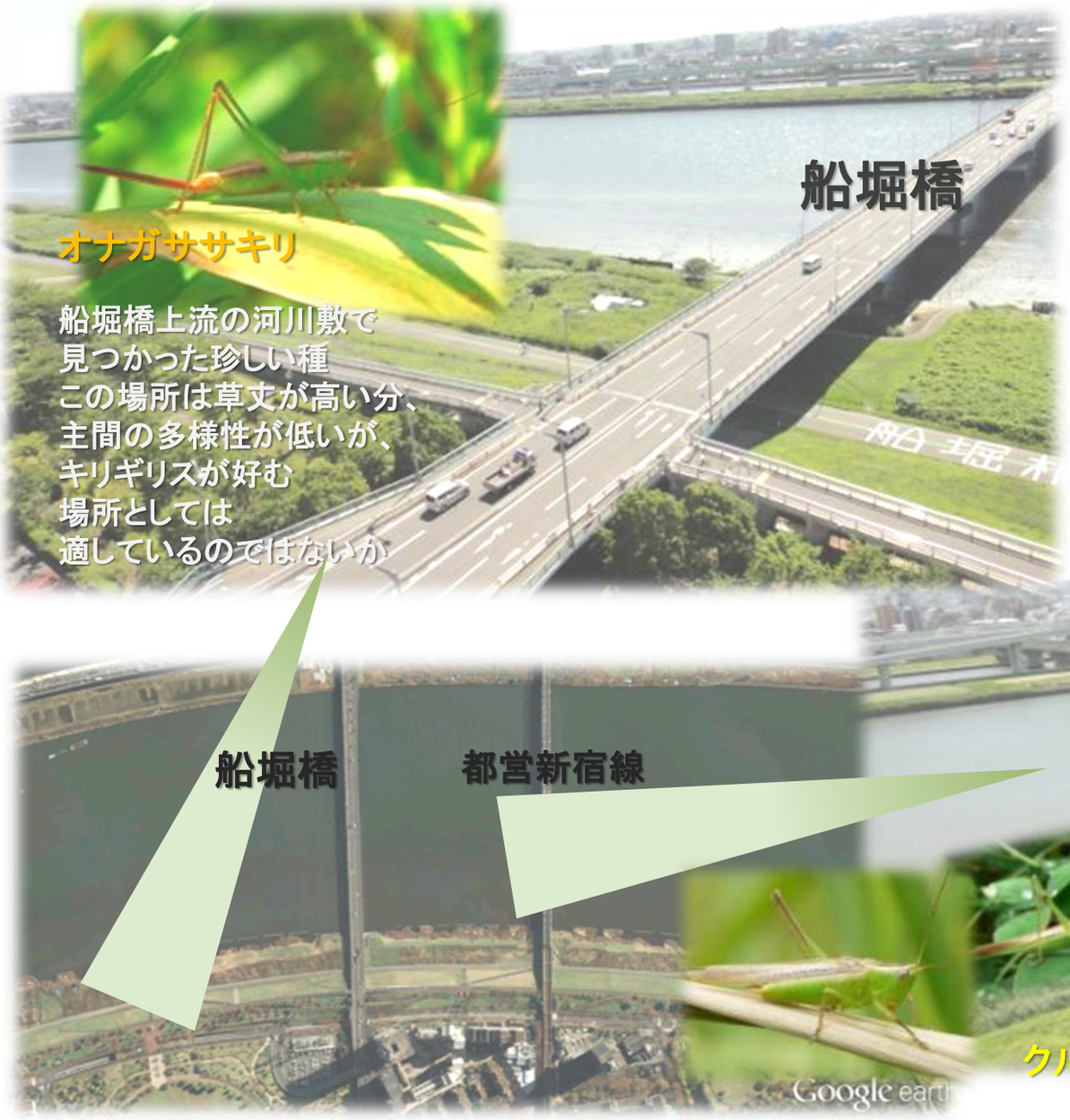
江戸川区立小松川第二小学校、江東区立第5大島小学校の児童や保護者の方を対照に実践しました。参加者は延255名に上りました。

## 今回の結果

1. 発見種数は、バッタ8種、キリギリス7種という結果になりました。
2. 参加者全員がバッタとキリギリスの見分け方を理解され、同定できました。
3. 植生の草丈、刈り取りの状況などによって、棲んでいる種が大きく異なることを、参加者全員で確認できました。

# バッタ・キリギリスMAPと考察

519人の調査活動により、次のことが明らかになりました。




## 発見数のランキング

| No. | 種名 | 発見数 |
|---|---|---|
| 1 | ショウリョウバッタ | 52 |
| 2 | ツチイナゴ | 48 |
| 3 | トノサマバッタ | 46 |
| 4 | オンブバッタ | 40 |
| 5 | クビキリギス | 32 |

## 土手と河川敷の棲み分け(比率)

| 注目種 | 土手 エリアB | 河川敷 エリアC |
|---|---|---|
| ショウリョウバッタ | 1 | 1 |
| ツチイナゴ | 3 | 2 |
| トノサマバッタ | 2 | 1 |
| セスジツユムシ | 2 | 7 |

## 参加者の声

**たくさんのバッタ･キリギリスに出会えて感激しました。"ヒメギス"は初めて！なかなか迫力ある姿にびっくりしました。(まりな さん)**

## データの考察

発見種数のトップはショウリョウバッタでした。棲んでいる場所の草丈に左右されず土手及び河川敷において均等に分布するという性質上、発見率が高かったと思われます。
トノサマバッタやツチイナゴなどのバッタは、低層の草地に多く棲んでいることがわかりました。また、セスジツユムシなどのキリギリスは比較的草丈のある河川敷に多く分布していることがわかります。
これらを通じて、種の違いや自然の構造的な多様性について参加者と共有できました。